

27/01 Mon ~ 07/02 Fri

NZの学校は4学期制で、各学期の開始日は統一で指定されているのですが、第1学期の開始日だけは、定められた期間中に、各校が選んでいいことになっています。2020年の1学期(Term1)の始業は、1月27日から2月7日までの2週間の間とされており、ほとんどの学校が1月の最終週を始業日としています。

第1学期の始業日ということは新入生の入学日ということでもあり、また、本校のように多くの留学生がTerm1からの留学を開始することが多いので、この日は新入生や留学生を迎えるセレモニーを行う学校も多くあります。日本のように一大式典のような入学式をおこなうことはありませんが、マオリの様式にもとづいて、新たに仲間として迎え入れるセレモニーをおこなう学校も多くあります。

入学セレモニー、校長先生がお話ししています。



先生方からの歓迎の挨拶Hongi（ホンギ）です。肩に手を置き、額と鼻の頭をくっつけます。



後ろに並んでいる制服組は、日本で言うところの生徒会執行部、生徒たちの代表です。
たいていはyear13（高校3年生）ですが、とても大人っぽく見えます。

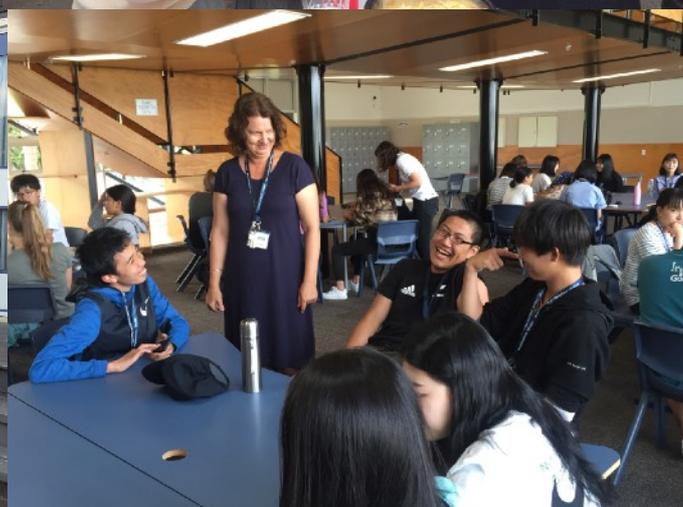


Powhiri（ポフィリ）という歓迎式典をおこなう学校もあります



どこの学校にも、留学課のような、留学生を担当する専門の部署があるので、留学生はまずオリエンテーションから始まります。





規模の大きい学校になると、留学生だけで数十人ということもあります。

日本の学校ではターム留学が盛んになってきていますが、留学生のほとんどが、1年単位の長期留学生です。



この学校では、オリエンテーション後に早速英語のテストを実施していました。

ESOL (English for Speakers of Other Languages) という英語を母語としない留学生向けの英語の授業もあり、留学課のスタッフがその授業を担当します。この時は他にオランダ、ドイツからの留学生も来ていましたが、日本人からすると、もうペラペラって感じで、ちょっと圧倒されていましたね。もちろん、そのぐらいの英語力があれば、ESOLの授業を受ける必要はありません。

オリエンテーションといっても説明をしたり、校舎内を見学するだけとは限りません。留学生（こちらではInternational Students・インターナショナルスチューデントと呼びます）の、交流と親睦のために、外で体を動かしたり、学校付近の散策をする学校もあります。



←オリエンテーションでアイスクリーム屋とは、さすがはNZです。

